

「教員の IT を豊かにするシステムの紹介」

— ティーチャーエクスペリエンスを高める「iZE Thin Client (アイズシンクライアント)」 —

株式会社アイズ 代表取締役社長 川邊 浩

kawabe@ize.co.jp

http://www.ize.co.jp

キーワード：KNOPPIX, シンクライアント, OSS

1. はじめに

教員の IT を豊かにする国家戦略として、「新 IT 改革戦略」(2006年)で「2010年までに教員への IT 機器の整備」が目標に掲げられ、「情報交換の手段としての IT の効果的な活用」「その他様々な校務の IT 化」が求められています。

しかし、現状のパソコン整備は果たして教員の IT を豊かにするのかを、これまでの営業実績や活動を通じて検証し、実際に教員の方々に共感いただいた新たな IT に対する価値を「ティーチャーエクスペリエンス」とし、その内容をご紹介させていただきます。

2. 地方自治体や教員の実態

(1) パソコンが普及していない

図 1 は日経 BP ガバメントテクノロジーが 2008 年 7 月 31 日に「e 都市ランキング 2008」として公表した教員の「1 人 1 台パソコン」環境の整備を示した図 1 (上) である。この結果から約半数以上は未整備であることがうかがえる。(下は、地方自治体職員の整備を示した参考図)

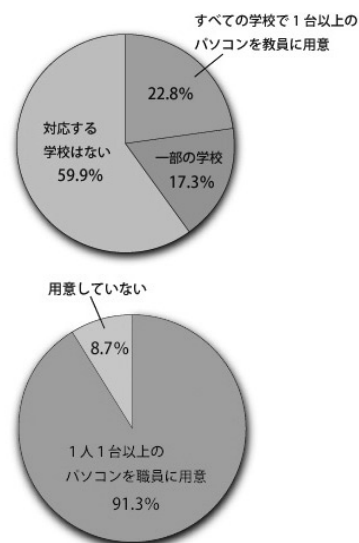


図 1

(2) セキュリティ対策へ高負荷

IT 機器の整備拡大にともなう個人情報の漏えいに対する教員個人のリスク対策とともに、「セキュア・ジャパン 2008」において、文部科学省では「教員の情報セキュリティに関する指導力の向上」を政策として掲げており、自己防衛と指導力を高い次元で求められることにより、高いプレッシャーを感じていることを営業活動中に感じることもある。

(3) 教員の課外活動における対応と管理業務

教員への営業活動においてよく遭遇するケースとして、課外活動の都合により夕刻遅い時間にご面談いただくことがあります。

これは、先生方が管理業務を多忙な時間割の中でこなさなければならない実態であり、特に女性の教員からは「家族の夕食の準備があるから課外活動後の管理業務は厳しく、どうしても自宅での業務になってしまう。」との言葉をよく聞くことがあります。かなり現実的であり切実な言葉であると実感することがあります。

(4) 予算不足に悩む過疎自治体

昨夏(2008年)に導入させていただいた地方自治体では、リースアップ後の Windows 98 Second Edition の PC/A T 互換機パソコンと弊社「iZE Thin Client」を利用し、教員パソコン一人一台を実現することができました。

この導入の際感じたことは、税収が減少傾向にある地方自治体では 2010 年までに教員一人一台パソコンを実現するのは至難の業ではないかと、教員だけでなく、教育委員会等自治体職員の方々の対応からひしひしと感ずることができました。

3. ティーチャーエクスペリエンスとは

これまでの営業活動で多くの公立小中学校では大なり小なりの課題を抱えていることがよくわかりました。これらから気づいた点は、大半の課題が本来の目的である「教育」とは遠い部分で発生し、その課題解決のため多くの教員が本来なすべき「教育」ができないジレンマで苦しんでいると感じたことです。

IT の普及が教員を不幸にしているといえる状況では、いつまでたっても「教員の IT を豊かにする・・・」的なテーマはなくなるのではと危惧しています。

このような中、弊社は教員が苦勞なく本来なすべき「教育」に情熱を傾けられるようなシステムを提供することが教員の満足感を満たすことができるのではないかと考え、これまでの IT では得られなかった価値を「ティーチャーエクスペリエンス」提供のため「iZE Thin Client」を開発販売しております。

4. ティーチャーエクスペリエンスを実現する「iZE Thin Client」

「iZE Thin Client」は、教員ならびに自治体の直面する課題を解決し、教員が教育に集中できるよう設計された Windows シンククライアントシステム構築のための専用OSです。特長は以下の通りです。

- (1) 専用機ではなく、既存資産（パソコン）や死蔵資産（陳腐化したパソコン）が利用できます
- (2) 専用の外部USBメモリを既存パソコンに挿入するだけで、簡単にシンククライアント専用機になります
- (3) 専用USBメモリは、書込禁止のため、不正改ざんやウイルス感染を防止します
- (4) 起動後は、内蔵メディアや各ポートを制御するため、不正コピー等の情報漏えいを防止します
- (5) 指紋認証付USBメモリを利用することで不正利用を防止できます
- (6) 自宅パソコン（PC/A T 互換機）等を利用して外部からの利用も暗号化通信により安全性が保たれます
- (7) 指紋認証付専用設定ツールにより、ネットワークの変更等柔軟な対応が可能です（教員がよく利用するメディアリダイレクト機能の制御も適時設定可能です）

5. 「iZE Thin Client」を利用して実現する「ティーチャーエクスペリエンス」

「iZE Thin Client」のこれまでの実績から、以下のメリットにより多数の教員に「ティーチャーエクスペリエンス」を提供、教育活動に専念していただいております。

- (1) 安心して利用できること
生徒の個人情報を扱う教員が個々に情報漏えい対策を行うのではなく、面倒な手続きなく簡便な方法で高い安全性を提供する「iZE Thin Client」は、教員のITに対するストレスを解消します。
- (2) いつ、どこからでも利用できること
課外活動等で不規則な時間が多い教育活動において、時間や場所、端末の種類に影響されることなく安全に利用できる「iZE Thin Client」は、教員から不安を解消します。
- (3) 常に変化しない環境が提供されること
教員の大半が通常のパソコンユーザーと同スキルであることから、通常利用している画面とソフトを常に同じ状態で提供する「iZE Thin Client」は、教員に安心感を与えます。
- (4) 安価で利用できること
教育活動での安全性等が確保され、利便性がそれほどかわらず安価にITシステムを構築できる「iZE Thin Client」は、予算面でも安心して導入ができます。
- (5) 管理が容易であること
ITシステムの保守管理をすることが業務ではない教員にとって、保守や管理が最小限になる「iZE Thin Client」の導入は、特定の教員に集中しがちなITの業務負担を解消します。

6. 「iZE Thin Client」の導入実績

これまでの教育現場への導入実績の一部をご紹介します。（順不同）

- 亀山市教育委員会様（300ライセンス）
教員の持込パソコンを「iZE Thin Client」により専用端末として再利用
- 皇學館大学図書館（20ライセンス）
リースアップしたパソコンを「iZE Thin Client」で蔵書検索用の専用端末として再利用
- 宇治山田商業高等学校（88ライセンス）
死蔵資産（8年前）のパソコンを「iZE Thin Client」で情報処理科の授業用端末として再利用（図2）
- 松川村小学校
授業用リースアップしたパソコン「iZE Thin Client」で教員用の校務管理端末として再利用

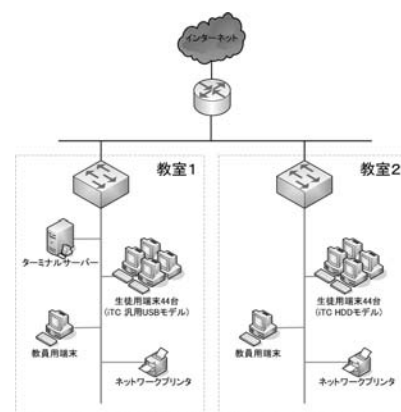


図2

7. さいごに

自身の教育現場での経験とこれまで導入やご相談でお付き合いいただいた教員の方々から頂戴した貴重なご意見をもとに「iZE Thin Client」は教員や自治体からご支持をいただき、「教員のITを豊かにするシステム」として、徐々にではありますが全国からお引き合いを頂戴しております。

平成22（2010年）年度末の教員一人一台パソコンの新たな導入方法として、実績ならびに利便性だけでなく教員が本来すべき教育活動の一助として「ティーチャーエクスペリエンス」を実現する「iZE Thin Client」の導入をご検討ください。